

# ライン・プロポーションナー

FP-40,360

## 取扱説明書

### 項目

- 1。概要
- 2。特長
- 3。仕様
- 4。構造及び機能
- 5。使用方法
- 6。注意事項

## 1. 概要

ライン・プロポーションャーは送水ポンプからノズルまでのラインの中間に接続して、泡消火原液を吸引させるプロポーションャーです。

今、注目の木造建物や林野火災に最適なクラスA泡及び従来のクラスB泡の何れにも適用できる泡混合システムです。

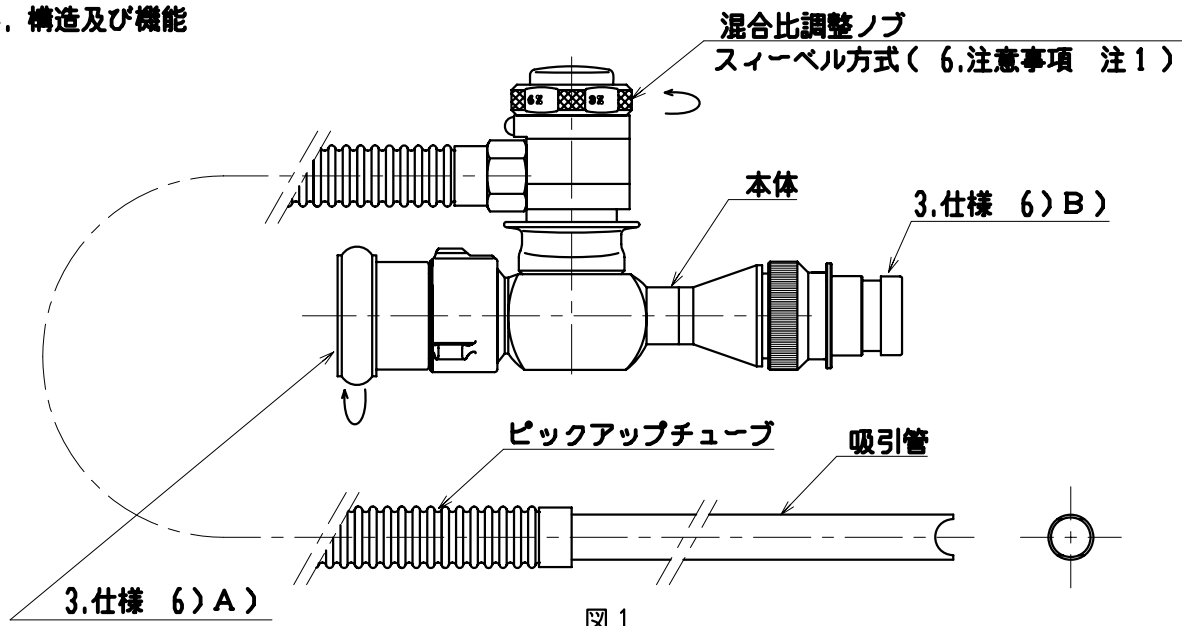
## 2. 特長

- 1) 取扱が大変簡単で便利です。
- 2) スィーベル機能を備えたピックアップチューブ付です。
- 3) 0, 0.25%, 0.5%, 1%, 3%, 6%の混合比が正確に選べます。
- 4) 材質はアルミニウム合金(耐食表面処理)で軽量、コンパクトです。
- 5) ホース接続は呼び40及び、呼び50差込式方式です。

## 3. 仕様

- 1) 名称: ライン・プロポーションャー(エダクター方式)
- 2) 型式: FP-40.360
- 3) 設定混合比: OFF, 0.25%, 0.5%, 1%, 3%, 6%
- 4) 実質流量: 360 l/min.
- 5) 寸法/重量: L=315mm / W=2.2kg
- 6) 接続口: A) 入口 40, 50差込式受け金具(JIS B9911)  
\* スィーベル方式  
B) 出口 40, 50差込式差し金具(JIS B9911)
- 7) 適用ノズル: クアドラフォグノズル(流量設定レンジ360以上)  
ツイスターノズル(360L/min以上)

## 4. 構造及び機能



## 5. 使用方法

- 1) ラインプロシューナーは吐水口もしくは送水ホースの中間に接続してご使用下さい。(図2参照)  
又、ホースの使用可能本数は40Aで20mホース3本、50Aで20mホース10本までです。  
※) 上記本数を超えて使用しますと、泡消化原液の吸引において、設定混合比を確保できない、又、吸引できなくなる恐れがあります。
- 2) ラインプロシューナー入口圧力は1.4MPaでご使用下さい。
- 3) 推奨ノズルとして、クアドラフォグノズル(流量レンジ360)  
ツイスターノズル(流量360L/min以上)で最適な混合性能が得られます。
- 4) クアドラフォグノズルをご使用の際に十分な発泡を必要とする場合は、クアドラフォグノズル専用の泡用アタッチメントとしてLXフォームジェット(低発泡用)MXフォームジェット(高発泡用)をご使用下さい。(図3参照)

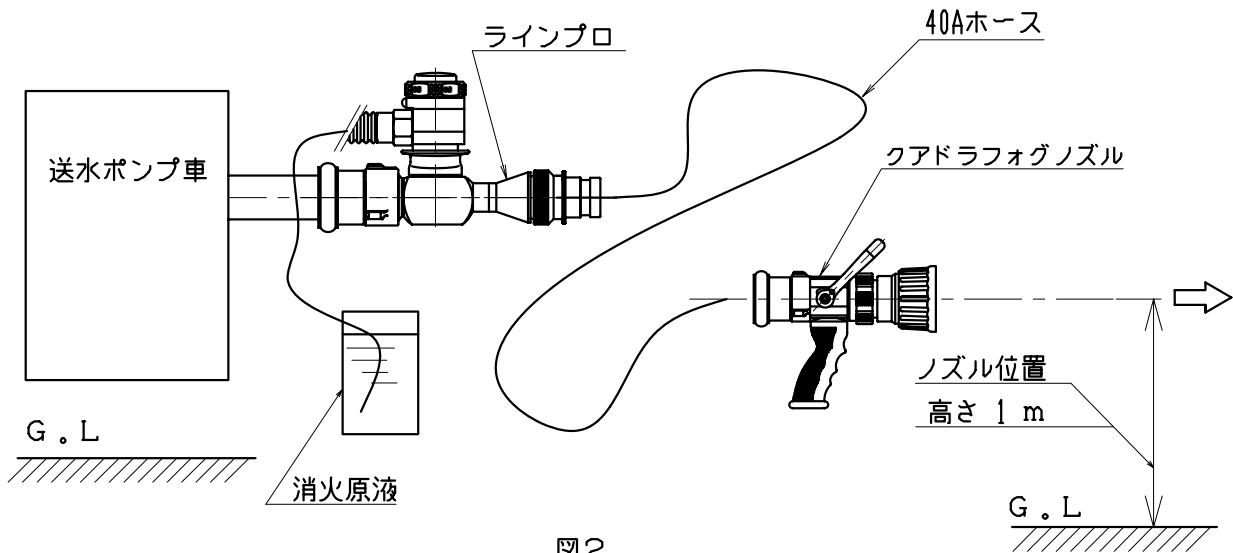
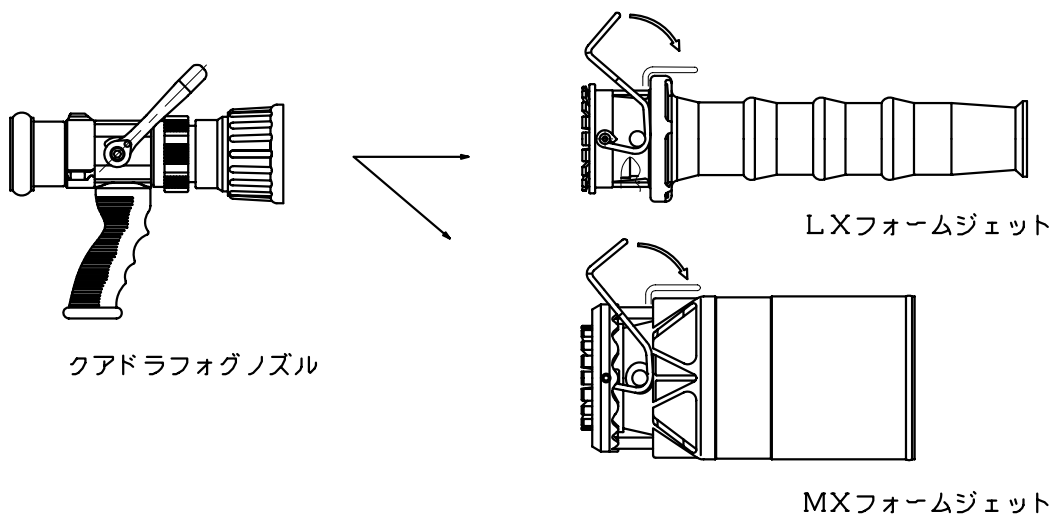


図2



注)ツイスターノズルに専用泡用アタッチメントはございません。

図3

## 6. 注意事項

1) ラインプロポーションナーは、ノズル吐出量やプロポーションナー吐出側ホース長さ、ノズル位置高さ等による圧力変化に非常に敏感ですので、取扱はご確認の上使用願います。

### 2) 保守、点検及び使用上の注意

注1 ピックアップチューブのスイーベル機能使用時は、混合比調整ノブのOFF(0%)以外を選択して下さい。

注2 水の流れ方向に充分ご注意の上取り付けして下さい。

注3 使用後は清水を吸引(混合比調整ノブをFLUSHにし)洗浄し、又 付着した土砂等を洗い流して下さい。

### 注4 消火原液が吸引出来ない場合

1. 使用ノズルが適切かどうかの確認( 360l/min.at 0.7MPa )

2. 使用圧力が適切かどうかの確認( 入口圧力 約1.4MPa )

3. 消火用水に油脂又は著しい汚れが混じっていないかどうかの確認

4. 混合比調整ノブの確認( OFF位置以外)

5. 原液吸液ラインのチェック

( ストレーナーの目詰まり、ホース接続部の緩みによるエアの混入等 )

6. 最大ホース延長、ノズル位置高さのチェック

注5 寒冷時には、消火原液の粘度が高まり、実際の混合比が低くなるため、混合比調整ノブの設定を上げて下さい。

△ 差込式結合金具は差し金具と受け金具が完全に結合したかご確認下さい。

△ 差込式結合金具は使用中には押し輪に絶対手を触れないで下さい。

△ 差込式結合金具の受け金具に動きの悪いツメがあるときや、しめ輪と受け金具に緩みのあるもの差し金具との結合が不具合のものは使用しないで下さい。

△ 本体と受け金具や差し金具に緩みのあるものは使用しないで下さい。

△ パッキン、Oリングが取り付けられているか、劣化していないか点検して下さい。劣化しているものを使用しますと漏水の原因になります。

\* 万一、不適切なご使用による事故等が発生致しましても責任を負いかねます。